

石川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	コンピュータリテラシー	
科目基礎情報							
科目番号	20221			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：岡田 他 「ネットワーク社会における情報の活用と技術 三訂版」（実教出版） 教材等：関連のプリントを配布する。						
担当教員	田中 文章,福田 真啓						
到達目標							
1. インターネット上のサービス（電子メール、Web）の仕組みを理解し、利用することができる。 2. 情報セキュリティにすることが説明できる。 3. ワードプロセッサを利用し、文書を作成することができる。 4. 表計算ソフトを利用し、データ処理を行うことができる。 5. プレゼンテーションソフトを利用することができる。 6. コンピュータの構成とその動作を説明することができる。 7. 著作権の基本について説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標項目1	電子メールやwebの利用ができ、必要に応じて設定やパスワードの変更ができる。			メールソフトやWebClassの基本的な操作ができる。		メールソフトやwebの使い方がわからない。	
到達目標項目2	情報セキュリティに関する内容を理解し、説明することができる。			情報セキュリティに関する基本的な内容が理解できる。		情報セキュリティに関する基本的な内容が理解できない。	
到達目標項目3	ワードプロセッサを使って、図や表を含めた文書が作成できる。			ワードプロセッサを使って、文章を書くことができる。		ワードプロセッサを使って、文章を書くことができない。	
到達目標項目4	表計算ソフトを使って、データの集計やグラフの作成ができる。			表計算ソフトを使って、表を作ることができる。		表計算ソフトを使って、表を作ることができない。	
到達目標項目5	プレゼンテーションソフトを使って資料を作り、プレゼンテーションすることができる。			プレゼンテーションソフトを使って、簡単な資料を作ることができる。		プレゼンテーションソフトを使って、資料を作ることができない。	
到達目標項目6	コンピュータの構成と動作を理解し、説明することができる。			コンピュータの基本的な構成と動作が理解できる。		コンピュータの構成や動作が理解できない。	
到達目標項目7	著作権に関する内容を理解し、説明することができる。			著作権に関する基本的な内容が理解できる。		著作権に関する基本的な内容が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 3							
教育方法等							
概要	ワードプロセッサ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使用法に習熟するとともに、コンピュータおよび電子メール等のインターネットサービスの仕組みや使い方を学ぶことで、技術者としての基礎学力と専門的知識を身につける。また、それらを利用したコミュニケーション能力を身に付け、併せて幅広い視点から自らの立場を理解し倫理や社会に配慮した利用方法を身に付ける。						
授業の進め方・方法	【事前事後学習など】到達目標の達成度を確認するため、随時演習課題を与える。						
注意点	【評価方法・評価基準】 中間試験、前期末試験を実施する。 中間試験(35%) 期末試験(35%) レポート及び演習(30%) 成績の評価基準として50点以上を合格とする。						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	パソコンの基本操作		学校のパソコンが利用できる。メールの受信やWebClassなどの利用ができる。		
		2週	情報セキュリティ 1		情報セキュリティの必要性和近年の事件や法律が理解できる		
		3週	情報セキュリティ 2		情報セキュリティの中ですぐに実行すべき事が理解できる		
		4週	情報セキュリティ 3		情報セキュリティの初歩的な専門用語と技術について理解できる		
		5週	ワードプロセッサ (1)		ワードプロセッサを使って文字や表の入力、書式の設定などができる。		
		6週	ワードプロセッサ (2)		ワードプロセッサを使って数式の入力や図表を入れることができる。		
		7週	表計算ソフト (1)		表計算ソフトを用いて簡単な計算を行うことができる		
		8週	表計算ソフト (2)		表計算ソフトを用いて、グラフや関数の機能を使うことができる。		
	2ndQ	9週	プレゼンテーションソフト (1)		プレゼンテーションソフトの使い方が理解できる		
		10週	プレゼンテーションソフト (2)		プレゼンテーションソフトを用いて発表用の資料の作成ができる		
		11週	プレゼンテーションソフト (3)		プレゼンテーションソフトを用いて発表ができる		
		12週	プレゼンテーションソフト (4)		プレゼンテーションソフトを用いて発表ができる		
		13週	インターネットやコンピュータの構成の基礎知識		基本的なインターネット・webやコンピュータの構造や基本動作が理解できる		

		14週	著作権とコンピュータを利用した問題解決（アルゴリズム）	著作権について簡単な説明ができる。 コンピュータを用いて簡単なアルゴリズムの実行や変更ができる。
		15週	前期復習	前期の内容が理解できている。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	1	
			高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	1	
			知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	1	
			知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	1	
		情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	1	
			コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	1	
			情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	1	
			情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	1	
			個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	1	
			インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	1	
			インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	1	
			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	1	
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	1	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	1	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0